

紙の上の思考 V

# Thoughts through Drawings – STROKE

小高由里子 佐藤万絵子 藤崎美和 山神悦子

2018.1.27 sat. - 2.11 sun.

open: wed. - sun. 12:00-19:00, last day 12:00-17:00

close: mon. tue.



このたび「紙の上の思考V Thoughts through Drawings – STROKE」を1/27（土）より2/11（日）まで開催致します。

5回目となるこのドローイング展は紙をベースにすることのみ共通しており、画材や描き方は作家それぞれの自由な方法によるドローイング展です。よりシンプルな素材や技法で描かれたドローイングを通し、同時代の作家の作品をストレートに感じることを目的にしています。今回はテーマがSTROKE（ストローク）、線そのものが魅力の四名の作家に参加を依頼致しました。

ぜひご高覧下さい。



「境界—光庭」watercolor on paper 38x57cm 2012

「境界—光庭」

みえるもの。きこえるもの。

異界のみえない、きこえないもの達……。

さんざめいているそんなもの達を感じ取り、対話、  
実験、思考しながら、絵画空間として生成させていく  
過程が描くことだと思っている。

水彩はよりストレートに表現出来ると考えています。

小高由里子

- 1946 埼玉県川越市に生まれる
- 1948 旧大宮市・現さいたま市に転居、現在に至る
- 1959 跡見学園中学校入学、油彩画を始める
- 1965 女子美術大学芸術学部美術学科洋画専攻入学
- 1969 女子美術大学芸術学部美術学科洋画専攻卒業、抽象画を描き始める
- 1971-1984 ヨーロッパ、北アフリカ、中近東、メキシコ等各地を旅行
- 1979 ドイツ在住
- 1997-2000 女子美術大学芸術学部絵画科洋画専攻（油絵）・非常勤講師

[ 個展 ]

- 1971 櫛画廊（東京）
- 1985 「85 レスポワール新人選抜展」銀座スルガ台画廊（東京）
- 1986 埼玉県立近代美術館一般展示室（埼玉）
- 1987 銀座スルガ台画廊（東京）
- 1988 スペース・ニキ（東京）
- 1990 村松画廊（東京）
- 1991 柳沢画廊（埼玉）
- 1992 村松画廊（東京）
- 1993 ギャラリーK（東京）
- 1994 かねこ・あーとギャラリー（東京）
- 1995 「油彩・水彩展」柳沢画廊（埼玉）
- 1997 かねこ・あーとギャラリー（東京）
- 1998 「油彩・水彩展」柳沢画廊（埼玉）
- 1999 かねこ・あーとギャラリー（東京）
- 2000 かねこ・あーとギャラリー（東京）
- 2001 かねこ・あーとギャラリー（東京）  
「油彩・水彩・版画展」柳沢画廊（埼玉）
- 2003 かねこ・あーとギャラリー（東京）
- 2005 「光にむかって」かねこ・あーとギャラリー（東京）
- 2007 「光にむかって2007」かねこ・あーとギャラリー（東京）
- 2008 「時の層」柳沢画廊（埼玉）
- 2009 「光の景2009」KANEKO ART TOKYO（東京）
- 2011 「Cosmic View 2011」KANEKO ART TOKYO（東京）
- 2012 柳沢画廊（埼玉）
- 2017 「光庭—境界2017」KANEKO ART TOKYO（東京）

[ グループ展 ]

- 1969-1998 「モダンアート展」東京都美術館（東京）
- 1981-1987 「埼玉美術の祭典」埼玉県立近代美術館（埼玉）  
「精神の幾何学展」東京都美術館（東京）  
「81 千葉展」千葉県立美術館（千葉）

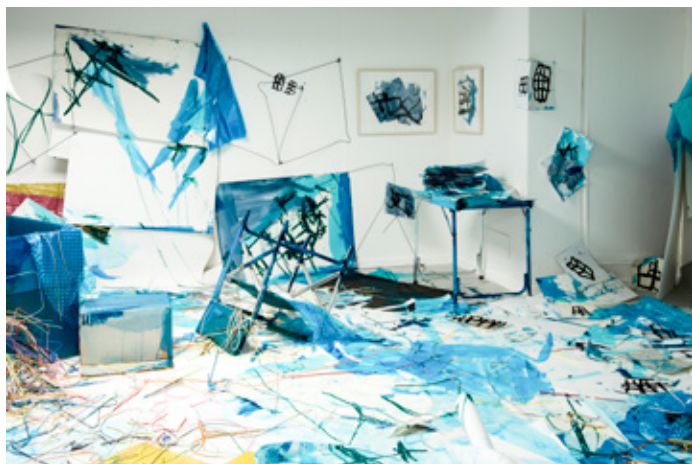
- 1984 「MAD21 展」スペース・ニキ（東京）  
「第18回現代美術選抜展」文化庁主催・岸和田市文化会館（大阪）  
豊橋市美術博物館（愛知）  
弘前市立美術館（青森）
- 1985 「安田火災美術財団奨励賞展」安田火災東郷青児美術館（東京）
- 1985、87、90 「集団視線展」地球堂ギャラリー、資生堂ギャラリー、  
紀伊国屋ギャラリー（東京）
- 1988 「現代美術120人展」埼玉県立近代美術館（埼玉）
- 1989 「現代作家 Just Now 展」ギャラリースペース21（東京）
- 1990 「現代日本絵画米国巡回展」（アメリカ、カナダ）
- 1991 「安田火災美術財団奨励賞第10回記念展」安田火災東郷青児美術館（東京）  
「Mahat 展」埼玉県立近代美術館（埼玉）
- 1992-1994 「SCRAMBLED EGGS. 表意の磁場から」埼玉県立近代美術館（埼玉）
- 1994 「DANCE」ギャラリーフレスカ（東京）
- 1995 「クロスセクション 断面 '95」高崎シティーギャラリー（群馬）
- 2000 「ヴィーナスたちの100年 女子美術大学創立100周年記念展」  
日本橋三越ギャラリー（東京）
- 2009-2011 「Venus 展」ギャラリーセイコウドウ（東京）
- 2014 「小高由里子／上楽寛／佐々木重太郎展 -3人のいま、2014秋-」  
KANEKO ART TOKYO（東京）
- 2017 「ing NOW-」うらわ美術館（埼玉）

[ 受賞 ]

- 1984 モダンアート協会賞  
安田火災美術財団奨励賞
- 1985 安田火災美術財団新作秀作賞

[ コレクション ]

- 損保ジャパン東郷青児美術館（東京）
- 高槻京都ホテル（大阪）



「窓枠を押しつぶせ空」部分／2016年／撮影：柳樹大  
オイルスティック、オイルパステル、アクリル絵の具、ペンキ、紙、段ボール、ビニール、  
レジャーシート、針金、椅子、机  
7.7m × 6.3m × 2.3m（会場サイズ）総床面積約 48.5m<sup>2</sup> なびす画廊（東京）

1975 秋田県生まれ

1998 武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業

2000 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻油絵コース修了

#### 個展

2016『画廊からの発言 新世代への視点 2016「窓枠を押しつぶせ空」』

なびす画廊、東京

「机の下でラブレター（ポストを焦がれて）」アサヒ・アートスクエア※、  
東京

2014「机の下でラブレター」HIGURE17-15cas、東京

2010「防具をはずす（虹を受けとめるために）」（『四式』企画：OJUN）  
遊工房アートスペース、東京

2009「うけとめるひとのいるところ」遊工房アートスペース、東京

2008「Where The Catchers Are」ARATANIURANO、東京  
「受けとめるもの-Catchers」（企画：吉崎和彦）LOOP HOLE、東京

2007「A Saucer」Space Kobo&Tomo、東京

2006「boat」Space Kobo&Tomo、東京

2005「in the picture/ out of the picture-LIGHTHOUSE to fall into  
the picture」Space Kobo&Tomo、東京

2004「in the picture/ out of the picture 絵のなか／絵のそと」  
武蔵野美術大学α M プロジェクト vol.6（企画：児島やよい）、art space  
kimura ASK?、東京

「in the picture/ out of the picture 絵のなか／絵のそと」  
人形町エキジビットスペース Vision's、東京

2003「in the picture/ out of the picture 絵のなか／絵のそと」  
Space Kobo&Tomo、東京  
「in the picture/ out of the picture 絵のなか／絵のそと」gFAL、東京

2002「in the picture/ out of the picture 絵のなか／絵のそと」  
Space Kobo&Tomo、東京

2001「ラブレターの」O ギャラリー TOP・S、東京

#### グループ展

2017「アブラカタブラ絵画展」市原湖畔美術館、千葉

2015「ループホール 10 周年記念展 THE FIRST DECADE OF LOOP HOLE」  
府中市立府中グリーンプラザ分館ギャラリー、LOOP HOLE、東京

2014「FUCHU OF MADNESS - 無名祭祀書 -」LOOP HOLE、東京  
「第 1 回凹地企画展 クレーター vol.1」遊工房アートスペース、東京

2013「ダイチュウショー 最近の抽象」府中市美術館 市民ギャラリー、東京  
「CHOCOLATS DES FUCHU」LOOP HOLE、東京

2012「館林ジャンクション 中央関東の現代美術」群馬県立館林美術館、群馬

2012「CHOCOLATS DES FUCHU」LOOP HOLE、東京

自分にとって絵画とは何か、「描く」こととは何か。

絵画とは、ちゃんと誠実でいられる最後の場所。

また、そのようにして積み重ねられてきた先人達の時空と形式。

私にとって、描くこととは、物質と光を介した心の呼吸。

2017 年 12 月の地点より。佐藤万絵子

2011「所沢ビエンナーレ美術展 2011 - 引込線 -」第一会場  
所沢市生涯学習推進センター、埼玉

「CHOCOLATS DES FUCHU」LOOP HOLE、東京

2010「アート天国」松の湯 2F、東京

「CHOCOLATS DEL TORO FUCHU」LOOP HOLE、東京

2009「第 1 回 所沢ビエンナーレ美術展 - 引込線 -」

西武鉄道旧所沢車両工場、埼玉

2008「CHOCOLATS DES FUCHU」LOOP HOLE、東京

2005「Winter Session 2005」Gallery Jin、東京

「群馬青年ビエンナーレ '05」群馬県立近代美術館、群馬

2004「almanac#3;depositors meeting」art&riverbank、東京

「ART CAMPERS NOW 2004」いまだて芸術館、福井

「VOCA 展 2004」上野の森美術館、東京

2003「Jin Winter Session 2003」ギャラリー人、東京

2002「IMADATE ART CAMP 2002 in TOKYO」旧桜川小学校、東京

「IMADATE ART CAMP 2002」いまだて芸術館、福井

2000「平成 11 年度武蔵野美術大学大学院修了制作優秀作品展」

武蔵野美術大学美術資料図書館展示室、東京

1999「デュッセルドルフ・クンストアカデミー×武蔵野美術大学交流展『DJ』」

デュッセルドルフ・クンストアカデミー講堂、ドイツ

1998「デュッセルドルフ・クンストアカデミー×武蔵野美術大学交流展

『terminal』武蔵野美術大学 12 号館展示室、東京

「平成 9 年度武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展」

武蔵野美術大学 12 号館展示室、東京

#### 受賞歴

2015「Asahi Art Square Open Square Project 2015」

（主催：アサヒ・アートスクエア）

2000 武蔵野美術大学大学院修了制作優秀賞

1998 武蔵野美術大学卒業制作優秀賞

#### 奨学金

2005 第 19 回ホルベインスカラシップ奨学生

#### コレクション

Fondazione Benetton Studi Ricerche（ベネトン財団、イタリア）

※佐藤万絵子 2016 展覧会ウェブサイト

<http://maekosato.com/exhibition/>

# 藤崎 美和 FUJISAKI Miwa



「たちこめる」フロッターージュ  
和紙 色鉛筆 200 × 100mm 2016

1986 千葉県生まれ

2011 東京造形大学大学院造形研究科 美術研究領域修了

## 展示

2016 「JINEN GALLERY 取扱作家展」 JINEN GALLERY (東京)

2015 「EXIST Vol.4」 JINEN GALLERY (東京)

2015 「藤崎美和 展」 JINEN GALLERY (東京)

2013 「Into the light」 SAKURA GALLERY (東京)

2013 「第 19 回鹿沼市立川上澄生美術館 木版画大賞展」 鹿沼市立川上澄生美術館  
(栃木)

2010 「第 35 回全国大学版画展」 町田市立国際版画美術館 (東京)

2010 「見えない眼差し」 相模原市民ギャラリー (神奈川)

2010 「第 78 回版画展」 東京都美術館 (東京)

2010 「Handle」 養清堂ギャラリー (東京)

2009 「アートプログラム青梅 PREMIUM OME」 (東京)

2009 「Znews」 九美堂ギャラリー (東京)

2009 「ZOKEI 展」 東京造形大学 (東京)

2008 「第 33 回全国大学版画展」 町田市立国際版画美術館 (東京)

2008 「藤崎美和展」 node (東京)

2007 「watarase art project」 (群馬、栃木)

## 受賞

第 33 回目、35 回全国大学版画展 買い上げ賞

第 16 回、19 回鹿沼市立川上澄生美術館木版画大賞展 入選

第 78 回版画展 入選

## 収蔵

町田市立国際版画美術館

東京造形大学付属図書館

# 山神 悦子 YAMAGAMI Etsuko



「ビスマス」 ("Bismuth") 227x158mm Chinese ink on paper 2017

ストロークに集中するために墨液と筆だけを使い、紙に描画しました。最近2年余り関心を持っている鉱物をテーマにして、それを自分本来のリズムと身体性に基づいて抽象化しています。

描いている途中で、水彩絵の具で着色したくなることもありますが、あえてモノクロに拘っているいろいろ試していると、紙の種類を替えるだけで同じ筆と墨を使っても随分違う色彩、描線が現れることに気付かされます。

東洋には素晴らしい水墨画や書があり、西洋にもレンブラントやゴヤなど巨匠による墨のデッサンがあるので、憧れと同時に畏怖も抱きますが、この表現手段は私にとって更に深めて行きたい分野の一つだと思っています。

山神 悦子

1950 香川県生まれ

1973 お茶の水女子大学家政学部家庭経営学科卒業

1974-6 アメリカシアトル市に滞在

1981-3 スイスジュネーヴ市に滞在

1985-8 大石洋次郎氏(武蔵野美術大学講師・当時)に油彩を、  
'86-'88 黒田克正氏(同)にクロッキーを習う

1989- 個展、グループ展で作品を発表している

## 主な個展

1996 かわさき IBM 市民文化ギャラリー (神奈川)

1999 '07 ギャラリー工房“親” (東京)

1999 '01, '02, '03, '04, '06 GALERIE SOL (東京)

2004 '10, '11, '14, '17 Gallery 榎 SATORU (東京)

2006-7 ギャラリーアルテ (香川)

2009 '11, '12, '13 Shonandai MY Gallery (東京)

## 主なグループ展

1995「水戸アニュアル 絵画考—器と物差し」水戸芸術館 (茨城)

2002「イビザ版画ビエンナーレ」(スペイン)

2003「サン・モール版画ビエンナーレ」(フランス)

2008「MY Interaction 2008」Shonandai MY Gallery (東京)

2008「ART OSAKA」堂島ホテル/ギャラリー工房“親”の部屋 (大阪)

2012「Slick contemporary art fair」Wild Gallery /  
Gallery 榎 SATORU のブース (ベルギー)

2015「CONTRAST 実感/イメージ」ギャラリー工房“親” (東京)

2016「循環—風と水と大地」Gallery 榎 SATORU (東京)

2017「CORRESPONDENCE/LANDSCAPE 017」Gallery 工房“親” (東京)

2017「シリーズ/山梨の現代美術作家 Vol.6」iGalleryDC (山梨)

## 滞在制作

1998 Art Colony Galichnik (マケドニア)

2000 The International Painting Plein Air Plovdiv (ブルガリア)

## 受賞

2001 第2回資生堂 ADSP

## その他の活動

2017 装画『夢のあとさき』黒田福美著 三五館